

原子・分子レベルの界面制御を用いた 有機デバイスの高機能化

Impact of interface engineering on device
characteristics of organic electronic devices



村田 英幸

マテリアルサイエンス研究科

2011 4/19(火) 12:40 – 13:20

知識科学研究科講義棟 1F エントランスホール

超薄膜の多積層構造からなる有機ELや有機薄膜太陽電池などの有機デバイスには電極/有機層あるいは有機/有機界面などの界面が多く存在し、これらの界面における物性が、素子の特性に大きく影響を与える。

特に電極/有機層といった異種材料間における界面では材料の組み合わせによって界面の電子状態が大きく変化し、有機デバイスの性能に直接界面の電子状態の変化が反映される。

ここでは、有機EL素子や有機薄膜太陽電池を例に取り上げ、界面電子状態が実デバイスにおいて果たす役割を解説する。



有機EL素子ディスプレイ



エントランスホールは、
知識講義棟1F、中講義室の真下
学生課前の階段を下りた先です。

学内連携セミナーは、JAISTで行われている研究の知識共有を目指しています。専門家以外も楽しめるセミナーを行いますので、ぜひ講師以外の研究科の方もご来聴下さい。

世話人：鶴木、小矢野、橋本、長谷川、戸田、寺倉